2003-0915-23 1904.1.1 1:44 AM ページ1 (1,1)

生きる力を育む猪名川の教育

特色ある学校づくりに向けて

昨年、「生きる力を育む教育」が導入され、１年が過ぎました。本町では現在、子ども達一人ひとりの基礎学力を強化し、そして自ら学び・自ら考える力の育成に向けて取り組んでいます。また、各小中学校では、それぞれの地域の特色を取り入れながら、住民の皆さんの協力を得て、特色ある学校づくりを進めています。

今回は、これまでの教育への取り組み状況や、皆さんから寄せられた質問とその回答などについて、紹介します。

今、教育は、いじめの問題、学級崩壊、非行の低年齢化、不登校児童生徒の増加など大きな問題に直面しています。このような問題は様々な要因がからみあっており、とうてい学校だけで解決できる問題ではありません。

学校、地域、家庭が教育のあり方や生活のあり方を見直し、一体となって子どもたちを育てていかなければ解決の糸口さえも見つかりません。

そのような状況のなかから、昨年度、完全学校週５日制がスタートするとともに、学校における教育計画のもとになる学習指導要領が、次の４点を柱に大きく改訂されました。

◎豊かな人間性や社会性を身につけ、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する。
◎自ら学び自ら考える力を育成する。
◎ゆとりのある教育活動を展開するなかで、基礎基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実する。
◎各学校が創意工夫を生かし、特色ある教育・特色ある学校づくりを進める。

このような「生きる力の育成」をテーマとした21世紀の教育が始まり、本町においても、新しい教育への取り組みを進めています。

教育なんでもQ&A

この１年間に教育委員会や学校に寄せられた質問、それに対する回答をお知らせします。

「生きる力の育成」とはどんな力のことですか？

次の３つをさしています。

▽自ら課題を見つけ、自ら学び・自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力

▽自らを律し、他人と協調し、他人を思いやる心や感謝する心など、豊かな人間性

▽たくましく生きていくための健康、体力

完全学校週５日制のねらいとは？

学校、地域が一体となってそれぞれの持つ教育機能を十分に発揮し、ゆとりのある生活環境、教育環境のなかで、子どもたちが自然体験や社会体験などの活動を通して、生きる力を身につけることです。それには、学校、家庭、地域が一体になり、子どもたちや地域の状態に応じた、特色ある教育、特色ある学校づくりを進める必要があります。

土曜日が完全に休みになり、学力が低下しないでしょうか？

基礎基本の内容をしっかりと教え、理解の徹底を図ります。そしてその基礎基本の力の上に生きる力につながる創造力や表現力・思考力を身につけさせることを大切にした学習形態になっています。

つまり、少なく教えて多く学ばせるということに主眼を置き、教育内容が整理されています。ですから、授業時数が多少減少しても、子どもたちの学力が低下するというようなことにはなりません。

体験学習や問題解決学習という言葉をよく耳にしますが、どうして体験学習が必要なのでしょうか？

昔から、「聞いたことは忘れ、学んだことは覚え、体験したことは身につく」という言葉があるように、子どもたちが自ら体験することが本当の理解につながるということです。今回の改訂で、教育内容が厳選され、縮減されました。各教科に体験学習が十分に取り入れることができるようになっています。

総合学習の時間は何を学ぶのですか？

総合的な学習の時間では、各学校が、地域や学校、児童生徒の実態に応じて、教科や学年の枠を超えて、社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を育成します。各学校では、国際理解・情報・環境・福祉・健康などの課題、児童生徒の興味関心にもとづく課題・地域や学校の特色に応じた課題などから各学校がテーマを選択し、学んでいきます。

最近、いきいき学校応援団の募集を目にしました。いきいき学校応援団というのは何なのでしょうか？

昨年度から、実施している事業です。

地域や保護者の方々の協力を得て、学校教育を展開していくことが目的です。これまでは、教員の免許を持ったものだけが子どもたちを教えていたのですが、専門的な知識を持った方々を教師とともに授業に参加をしていただくことによって、子どもたちの興味、関心を育てていこうという内容の事業です。

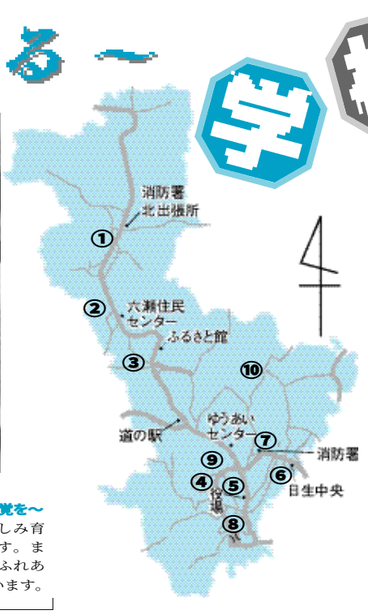
時間割がA週、B週の２通りあります。以前はこのようなことは無かったように思うのですが。時間割の編成に変化があるのでしょうか？

時間割についても大きく変わっています。これまでは、４月に配布した１枚の時間割を中心として、行事などがあれば変わるという形でした。そして、小学校の授業時間は45分、中学校において50分と決められていました。ところが、今回の改訂で、時間割についても各学校が学習指導要領に定められた年間総授業時数を確保すれば、時間割編成を各学校が弾力的に行ってもよくなりました。学校によっては、複数の時間割りを使用するとか、教科やその内容によって効果的な場合は、15分の授業や90分の授業を取り入れています。

問合せ　学校教育課　766・6000

～特色ある～学校づくり

本町では、平成４年度から地域や子ども達の実情に根ざした教育を推進するために、「特色ある学校づくり推進事業」を進めてきました。
各小中学校における特色ある学校づくりの推進テーマと、各学校が取り組んでいる内容の一部を皆さんにご紹介します。



①大島小学校（児童数234人）

～心と命を育む学校づくり・ふるさとづくりで豊かな人権感覚を～

動物の飼育や、いも・米などの栽培を通して、命を慈しみ育てる優しい心や責任感の育成を目指して取り組んでいます。また、地域の方々の協力を得て、もちつき大会（写真）やふれあい美化作業を行い、地域に開かれた学校づくりを推進しています。

②六瀬中学校（生徒数222人）

～互いに信頼し、尊敬し合う心豊かな生活の充実を目指して～
－国際理解教育の推進－

姉妹都市バララット市の生徒達との、手紙・Eメール・ビデオレターなどによる交流や学校紹介を行っています。また、今年度はバララット市よりロレト・カレッジの生徒達を招き、学級別交流やダンスなどにより親睦を深めました。国際交流を通して、多様な文化を持った人々と共に生きていく態度を育成しています。

③楊津小学校（児童数140人）

～花のある　歌のある　笑顔のある楊津小学校づくり～

学級園や花壇、植木鉢などに花を植え、栽培活動を通して、自然に関心を持ち、自然を大切にする心を育てています。また、障害児教育や健康福祉教育、人権教育を通して、人を思いやる心や助け合いの気持ちを持つ児童を育成します。

④白金小学校（児童数488人）

～ぼくも　わたしも　白金の子～
－よりよい白金にしていこう－

花や野菜、果物の栽培や生き物の世話・清掃など、体験活動を充実させています。そのなかで、美しいものを美しいと感じる心や、命を慈しみ育てる優しい心や責任感、自分達の暮らしを自分達の手で創る充実感などを子どもに学ばせます。

⑤猪名川小学校（児童数515人）

～豊かな心を育む学校づくり～

校区の熟年クラブの方々との交流を通じて、さまざまな福祉活動を体験したり、障害児学級との交流を推進し、全校児童のふれあいを深める中で、互いの人権を尊重し、人格を高め合い、思いやりの心が育つように取り組んでいます。また、小動物を飼育し、学級園などに花を植えることで、命の大切さを学び、自然に親しみ感動できる児童を育成しています。

⑥松尾台小学校（児童数443人）

～自ら進んで学ぶ力を育てる～
－自ら学ぶ子どもを育てる授業をめざして－

体育の授業を通して「自ら学ぶ子ども」の育成を目指して取り組みを進めています。

例年、今までの体育ではなかった種目を取り入れ、子ども達の興味・関心を高めるなかで「自ら学ぶ子ども」を育成しています。自ら学ぶことによって体を動かすことが大好きな子どもを育成しています。

⑦中谷中学校（生徒数295人）

～21世紀を共生し創造する「生きる力」を育む～

「総合的な学習」を通して、自ら学ぶ楽しみと課題解決の喜びを求める生徒の育成を目指します。１学年では福祉体験活動（写真）や日本に住む外国人の実情を勉強し、２学年では進路学習やアジアの国々と日本のかかわりを勉強します。３学年では平和学習や国際理解について勉強します。

⑧つつじが丘小学校（児童数234人）

～地域とともに歩む学校をめざして～
－授業づくり、環境づくり、ふれあいづくり－

平和・音楽などの学習発表会では、保護者や地域の人々に多数参加していただけるような体制づくりをしています。また、地域の高齢者を招き、伝承遊びなどの体験活動を通じて、子ども達の心を素直に豊かにしていきます。また、福祉活動や奉仕活動を体験し、地域の環境づくりに参加しているという意識を育てていきます。

⑨猪名川中学校（生徒数617人）

～合唱コンクールで地域に～

合唱により生徒の心を開いて表現力を高め、情操豊かな心を育成し、合唱をつくり上げるなかで全校生徒の連帯感を育成するとともに、生徒の自主性や主体性を伸ばします。また、合唱コンクールを通して、家庭や地域社会との連携を深めます。

⑩阿古谷小学校（児童数67人）

～大好き阿古谷　ふるさとへの発信～
－阿古谷のよさを感じ、守り、知らせる－

自然や歴史、人々の暮らしを探検し、自分達が暮らし、育つ阿古谷に誇りと愛情を持つ心を育成しています。また、ホタルの観賞会など自然豊かな阿古谷にしかできない教育活動を推進し、自然を守る気持ちを高めていきます。そして、自分達で作成したパンフレット・ビデオ・新聞などを通して、阿古谷のよさを伝えています。

はい！ポーズ

本多（ほんだ）　日和（ひより）ちゃん
1歳３カ月（伏見台）

我が家の日和は、お散歩、おしゃべり、おどるのが大好き。名前の通りみんなのおひさまになりますように。
父　敦史・母　あい子さん

尾北（おきた）　智紀（ともき）くん
1歳４カ月（若葉）

近頃とってもやんちゃ盛りの智紀だけど、これからも元気で思いやりのある子に育ってね。
父　浩司・母　祐子さん

ゆうあいセンターより

「あじさい会」に参加しませんか

「あじさい会」は町内在住の65歳以上の人を対象にしたサークルです。同会では、閉じこもりを防止し、生きがいのある生活を送るため、カラオケやグラウンドゴルフ、和紙で小物作りなどの行事を月１回開催しています。９月17日は、午後１時から同３時まで講師を迎え、庭の手入れ方法などの話を聞きます。お気軽に参加してください。

ゆうあい“いきいき”教室

ゆうあいセンターでは、町内在住の60歳以上の人を対象に次のとおり教室を開催しています。教室に参加して、楽しいひと時を過ごしてみませんか。

申込み・問い合わせは、ゆうあいセンター（766・1200）へ。

ゆうあい“いきいき”教室一覧表

教室名	水泳	俳句	パッチワーク
とき	毎週水曜日 午後１時30分～同３時	第２火曜日 午前10時～正午	火曜日 （第１・３グループ） （第２・４グループ） 午後１時～同３時
ところ	室内プール	研修室	研修室
持ち物	水着・水泳帽・ゴーグル	筆記用具	筆記用具・裁縫道具
講師	廣田淑子さん	前西一尾さん	稲垣 京子さん

健康づくり教室に参加しよう

成人男性の51.7%、成人女性の39.7%が高血圧、また、成人の10人に1人が糖尿病かその予備軍と言われています。

このように、高血圧や糖尿病は決して他人事ではありません。食生活の乱れや運動不足（肥満）、ストレス、喫煙、多量飲酒など生活習慣の点検のためにも、ぜひ参加してください。

とき下表のとおり　**ところ**保健センター
定員40人（先着順）

申込み・問い合わせは、保健センター（766－1000）へ。

健康づくり教室日程表

教室名	日時	講師
あなたもひょっとしたら高血圧？	10月20日（月） 13：30～15：00	中村内科クリニック 中村 多一先生
糖尿病あなたは大丈夫ですか？	10月29日（水） 13：30～15：00	森内科小児科 森 幸三郎先生

●住宅・土地統計調査にご協力を●

10月1日から、5年に一度の住宅・土地統計調査が行われます。全国の約４００万世帯が対象となります。この調査は住宅・土地に関する大規模で最も基本的な調査です。知事が任命した調査員が調査票を持ってお宅にお伺いしますので、ご協力をお願いします。なお、調査内容を統計作成以外の目的に使用することは一切ありません。

問い合わせは、都市整備課（７６６・８７０４）へ。

ーストップ・ザ・交通事故ー

９月21日～30日までの10日間は、秋の全国交通安全運動期間です。今年は、次の２点を重点事項として展開されます。
問い合わせは、生活環境課（　766－8712）へ。

重点1
高齢者の交通事故防止、特に夕暮れどきにおける歩行中の交通事故防止

※夕暮れどきは、早めのライト点灯に心掛けましょう。

重点２
シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底

※チャイルドシートは、子どもの体格に合ったものを使用し座席への正しい取付けの徹底を心掛けましょう。

▲チャイルドシート着用推進シンボルマーク　「カチャピョン」